

清須市認知症施策令和2年度実績・3年度計画（案）

区分	事業名	令和2年度実績	令和3年度（案）
1. 普及啓発・本人発信援助	認知症サポーター養成講座	認知症の正しく理解し、認知症やその家族が安心して暮らせるまちづくりを目指す。 【開催回数】3回、【養成人数】83人 【対象者】 一般：市民公開講座（一般市民、清須市民げんき大学生） 企業：ベンリーコーポレーション、第一生命 小中学生：福祉実践教室の一環として実施予定だったがコロナ禍のため中止	・継続して実施 ・小中学生へは福祉実践教室の一環として実施 ・市民公開講座：9月2日（木） ・地域の集まりの場や市内企業からの申し出を行政出前講座として開催。 ・第8期計画では令和3年から5年の間に企業での開催を12回を目標値
	認知症サポーターステップアップ講座	認知症介護者からの講話、認知症疾患医療センターについて講話 【開催日】3月2日【会場】清洲総合福祉センター 【参加者数】39名（内訳 サポーター：19名、キャラバン・メイト：20名） 【対象】認知症サポーター及び認知症キャラバン・メイト	【対象】認知症サポーター及び認知症キャラバン・メイト 【開催回数】1回 内容・時期未定
	【新】サポーターミーティング		意見交換を通し、認知症になっても安心して暮らせる町づくりは何かを考える。 【開催回数】2回 【対象者】認知症サポーター
	相談先の周知	・認知症安心ガイドの作成・配布（市民、市内医療機関、介護事業種等） ・地域包括支援センターの啓発 ・認知症チェックサイトの運営（アクセス件数：2,347件）	・継続して実施 ・ケアパスは内容を更新し作成
2. 予防 ※令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため5月未まで事業を休止	清須市民げんき大学（一般介護予防事業）（官学連携事業）	介護予防等に関する座学及び実技。卒業後は介護予防に関するステップアップ講座や交流会を実施。 【開催日】6月から3月 計14回 【受講生数】22名 【会場】愛知医療学院短期大学 【対象】自身の介護予防及び地域活動に参加意欲のある概ね65歳以上。定員20名	・継続して実施 ・卒業生を支援し、地域での活動ができるように働きかけていく。
	チャレンジ教室	2人1組となり、タブレットを使い、会話を楽しみながら脳トレを行う。 【会場・回数（前期・後期）】にしび創造C（19・23）、新川ふれあい防災C（18・21）、清洲市民C（17・22）、春日老人福祉C（16・22） 【対象】概ね65歳以上。半期ごとに受講者を募る。	・継続して実施 【会場】にしび創造Cを西枇杷島福祉Cに変更。 【対象】前年度受講していない人を優先
	いこまいか教室	・実施主体は市民団体。週に1回1時間運動を行うグループに市から無料で運動インストラクターを派遣。 ・参加者に基本チェックリストの項目を含んだアンケートを実施し、その結果を元にその団体が気をつけるべき項目の健康教育を実施。 【団体数】19団体 【延べ参加数】9,549名（2月末）	・継続して実施 ・アンケート結果から参加者の健康に関する傾向をつかみ、自ら介護予防の行動につながるように指導する。
	やろまいか教室	申し込みなしで行う運動教室。ほぼ毎週開催。 【会場】アルコ清洲（35回）、西枇杷島会館（38回） 【参加延べ数】アルコ清洲：1,416名（2月末） 西枇杷島会館：624名（2月末）	・継続して実施
	コロナ禍におけるフレイル予防	・コロナ禍で介護予防事業の中止が余儀なくされ、愛知医療学院短期大学にご協力いただき、フレイル予防の体操を市のホームページで配信。	・必要に応じ状況をみて対応

区 分	事業名	令和2年度実績	令和3年度(案)
		・介護保険事業計画の介護予防・日常生活圏域ニーズ調査対象者にコロナ禍におけるフレイル予防のリーフレット同封	
医療・ケア・介護サービス・介護者への支援	認知症初期集中支援チーム	・適切な医療や介護サービス等に速やかにつながるように支援 (令和2年度活動報告は資料3)	・継続して実施
	総合相談	・地域包括支援センターでの相談 【認知症に関する相談件数】321件(2月末)	・継続して実施
	認知症疾患医療センター	・愛知県は2次医療圏に1カ所に県が指定する病院に設置。令和2年4月から、北名古屋市の済衆館病院が指定。専門医療相談、認知症の鑑別診断と治療、周辺症状及び身体合併症への急性期対応、かかりつけ医等への研修会の開催、情報の発信の役割を担う。 ・認知症疾患医療連携協議会に出席。	・認知症疾患医療連携協議会が開催時参加。
	認知症カフェ	清洲の里：かぼちゃカフェ、月2回 ペガサス春日：なごみカフェ、月2回 地域包括支援センター：家族介護者交流事業&オレンジカフェ 4地区で開催、月1回	福祉カフェ実施機関との連携
認知症バリアフリーの推進・若年性認知症の人への支援・社会参加支援	見守り活動	事業者による見守り。令和2年度は新たに2事業者と提携。 【登録】48件(見込み)	・継続して実施
	徘徊高齢者登録	徘徊の可能性のある方の情報を事前に市へ登録。西枇杷島警察署及び地域包括支援センターと情報共有し、行方不明になった時に早期発見につなげる。 【登録】32人(見込み)	・継続して実施
	パトロール DOGS 事業	愛犬と散歩をしながら地域を見守り、気になる方を見かけたら様子を伺い、必要であれば関係機関につなげる。 【対象】認知症サポーターで犬を飼っている方 【登録数】15人(見込み)	・継続して実施 ・認知症サポーター養成講座時に啓発し、受講時に登録を促していく。
	成年後見制度	・認知症などで判断能力が不十分な高齢者が何らかの理由で不利益を被らないように保護・支援するための制度 ・計画において成年後見人制度の認知度を調査。	・継続して実施 ・成年後見制度の整備に向けての勉強会及び検討会
	民間保険等の活用による認知症高齢者の個人賠償責任の補償	愛知県内20市町が実施、令和4年度までに5市町実施予定。本市は未実施。	近隣市町の実施状況を鑑み、令和4年以降に導入に向けて検討。